



NPO法人 災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

# 災害救助犬・認定審査規定

2015年11月改訂

NPO 法人 災害救助犬ネットワーク  
認定審査部

服従審査と捜索審査は別開催とし、それぞれ年2回開催します。  
服従審査に合格した場合のみ捜索審査の出陳資格があります。  
服従審査と捜索審査に合格した場合が「認定」となります。  
服従、ランナウエイ、BOX 捜索の審査に合格した場合は「認定 R」となります。  
有効期間はそれぞれ3年間です。  
また、有効期間内に服従審査(更新)に不合格となった場合は「認定」は無効となります。

## 服従審査規定

服従作業の全ての課目は、審査員およびスチュワードの指示により行わなければならない。状況下(気温・湿度・風などの気候変動や地面形状の変異などを外部から受け、あらゆる不特定の環境刺激の中)での作業は、あらかじめ決められた距離・歩数・コースなどに沿った作業ではなく、実働を見据えた臨機応変な犬と指導手の対応を課目ごとに審査する。

審査の開始は、審査員およびスチュワードの指示により(以下「指示により」)、犬を脚側停座させ、ゼッケン番号・犬名・指導手名を申告する。申告後の作業は全て紐なしの作業となる。

### 1. 状況下の脚側行進

指導手は、犬を所定の位置に脚側停座させ、指示により「常歩」「速歩」「緩歩」「右折」「左折」「右回り」「左回り」「停止」の作業を行なう。

犬は、指導手の指示に注意深く、嬉々として、真っ直ぐに、肩甲骨の位置を常時指導手の左膝の位置に保ちながら脚側行進することを求められる。

スタート時、歩度および方向変更の際は、声視符を使用してもよい。

但し、乱用や誘導的な指導手の態度は、その程度に応じて減点される。

### 2. 状況下の行進中の作業

本課目は、作業開始直前に指導手は、スチュワードから作業姿勢の順序を決定するためのクジを引き、決定した順序で指示により作業を進めなければならない。

作業姿勢の順番の組み合わせは、以下の通り。

- A. 「停座 伏臥 立止」
- B. 「停座 立止 伏臥」
- C. 「伏臥 停座 立止」
- D. 「伏臥 立止 停座」



NPO法人災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

E. 「立止 停座 伏臥」

F. 「立止 伏臥 停座」

指導手は、犬を所定の位置に脚側停座させ、指示により脚側行進を始める。指示により選択した順序で作業姿勢を1声視符で命じる。

指導手は、1声視符で作業を命じる際に、脚側行進の一旦停止や歩度の変更もせずに振り向かずに止まる事なく直進し指示により犬と対面する。指示により犬の元へ戻り、指示により基本姿勢をとらせる。

指導手は、同様の要領で決められた作業姿勢の組み合わせの順番通りの作業を行なわなければならない。

### 3. 状況下の招呼

指導手は、犬を所定の位置に脚側停座させ、指示により、指導手は犬に「待て」を命じ、指示された方向に常歩で20歩以上離れて指示により犬と対面する。指示により1声符で犬を招呼する。犬は、直接脚側停座するか、又は指導手の直前に一旦対面停座してから、脚側停座させて終わる。

### 4. 状況下の遠隔操作

指導手は、犬を所定の位置に脚側停座させ、指示により、指導手は犬を伏臥させる。指示により指導手は犬に「待て」を命じ、常歩で指示された方向に15歩以上離れて指示により犬と対面する。

指導手は、指示により犬に立止を命じる、その後指示により犬に停座を命じる、その後指示により伏臥を命じる。指導手は指示により、犬の元へ戻り脚側停座をさせて終わる。

### 5. 状況下の休止

指導手は、犬を所定の位置に脚側停座させ、指示により、指導手は犬を伏臥させる。指示により指導手は犬に「待て」を命じ、犬から15歩以上離れた指示された場所で犬に背を向ける。休止中に犬が伏せの姿勢を停座や立止に変えても、その場にとどまっている場合は、指示により1声視符で伏せの姿勢に戻す事ができるが、動いてしまった場合は、指示により指導手は犬の元へ戻り、指示により作業を終了する。

休止時間は、概ねペアを組んだ一方の「4.遠隔操作」作業が終了した時点とする。

---

## 【禁止及び注意事項】

審査員は、指導手が以下の行為を行ったと認められた場合は、作業を中断もしくは中止させ失格とする権限を持つ。

1. 体罰
2. 犬の健康面に異常があると認められた場合
3. 伸縮リードの使用
4. 首輪によるショックを入れる行為と申告の際の首輪を絞まる状態での装着
5. 作業中に逸走等の著しくコントロールが不能と判断された場合
6. 人や犬に対しての適性にそぐわない行動や反応が見られると判断された場合



NPO法人災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

## ランナウェイ及び、BOX 規定

審査の開始は、審査員およびスチュワードの指示により、犬を脚側停座させゼッケン番号、犬名、指導手名を申告する。

本課目では、ヘルパーにご褒美を与えてもらう事ができるが、使用のご褒美は、服従審査開始前に、事前に担当スチュワードに渡しておく事とする。

### 1. ランナウェイ

指導手は犬を所定の位置で待たせ、ヘルパーに執着をさせ指示により犬をヘルパーの元へ発進させ、犬はヘルパーを発見したら速やかにバークアラートをしなければならない。ヘルパーが走り去る距離は20m以上とし、指示により、指導手は犬の元へ向かい指示により作業を終わる。

この作業は、全て紐無しで行なわれ、首輪及び、付随する鈴やカウベル等やハーネスの使用は自己判断で認められるが首輪を使用する際は、発進時に首輪が締まらないように装着しなければならない。

### 2. BOX 搜索

指導手と犬は、ヘルパーがBOXに入る姿が見えない場所に待機し、指示により作業開始ポイントへ移動する。3つのBOXの中からヘルパーの隠れている1つのBOXを発見させ速やかにバークアラートさせる。

この作業は、全て紐付きで行なわれ、首輪及び、付随する鈴やカウベル等やハーネスの使用は自己判断で認められるが首輪を使用する際は、首輪が締まらないように装着しなければならない。また、伸縮リード及びロングリードの使用は認められない。

---

## 審査評価

1. 審査の合否はすべての出陳終了後に総評と共に5段階評価で指導手に提示される。  
合格は、V・SG・G・B評価の4段階とし、不合格はM評価と記載される。
2. 審査終了後に作業の講評は口頭で出陳者に伝えられる。  
合否に関する評価ポイントは結果発表後に希望者には個別開示します。



NPO法人災害救助犬ネットワーク  
DISASTER RESCUE DOG NETWORK

## 搜索審査規定

搜索作業は、雑木林・山野・倒壊家屋・瓦礫想定現場等々など搜索審査会場に定められた地域性を重視し、搜索現場は審査会前日に審査員が決定し説明会で発表する。

1. ヘルパーは、設定会場により異なるが数名とし、搜索時間は 15～20 分以内とする。
2. スチュワードの指示により、犬を脚側停座させ、審査員にゼッケン番号、犬名、指導手名、発見時の告知方法(バークアラート)を申告する。
3. 設定会場により異なるが搜索作業の開始の為の出発地点は、指導手が決定し申告後は速やかに、出発点に紐付きで移動して搜索準備姿勢をとらせる。
4. 搜索作業は、審査員の指示により開始するが時間のカウントは指導手が審査員にトランシーバーにて作業開始の一報を入れた時点からスタートする。
5. 搜索作業を開始する際は、原則として犬の紐、首輪は外さなければならないが、搜索現場によっては不利である事を指導手が承知した上で首輪及び、付随する鈴やカウベル等を装着したまま搜索作業を行なう事は、その限りではない。また、申告時から首輪は締まらないように装着しておかなければならない。
6. 犬がバークアラートにて発見告知したと判断した場合、指導手は手を挙げトランシーバーで審査員に「発見」の一報を入れ、その後、指示により告知ポイントへ確認に入る。
7. 搜索時間内の犬への報酬としてのボールやトリーツの使用は認められない。
8. 立ち入り禁止区域には指導手は入る事はできないが、犬が発見告知をした場合は審査員の許可を得て確認のため一時的に立ち入ることができる。
9. 搜索作業の残り時間及び作業終了の指示はスチュワードよりトランシーバーにて伝える。
10. 搜索中、審査員が著しい作業意識の低下やコントロール不可と判断した場合は時間内でも審査は中止される。
11. 告知動作において、指導手による誘導や搜索作業の咆哮ではないと審査員が判断した場合は、発見咆哮の有無にかかわらず減点、もしくは無効とする。(無効の説明が必要か否かは審査員の判断とする)
12. 審査の合否は、搜索作業終了後に総評と共に 5 段階評価で指導手に提示される。合格評価は、V 評価・SG 評価・G 評価・B 評価とし不合格は、M 評価と記載される。

以上